

## 調 査 表 記 入 要 領

様式 1

区 分	項目No.	事 項	内 容
工場・事業場等		工場名等 産業分類	略称等ではなく、正確に記入すること (ア)日本標準産業分類（令和5年7月改定（第14回改定））の細分類番号を記入する。 (イ)複数の分類に該当する場合は、CODの汚濁負荷量の最大のものを記入する。
(1、2) 今後の計画等	①～⑤	計画の内容等	令和7年度から令和11年度末までの特定施設等の新設・増設(計画)及び廃止(計画)があれば具体的にその内容を記入する。申請(予定)年等については、年の前期、後期が分かる範囲で記入する。
(3) 現状・将来推定値	①～④ ⑤～⑧	特定排水	特定排水全体の実測値の年平均値を記入する。  (1)、(2)を踏まえた将来予測値を記入する。 ※栄養塩類増加措置を実施している事業者は、その内容も考慮すること
(4) 対策		栄養塩類管理対策	令和7年度から令和11年度末までの栄養塩類管理対策について記入する（削減のみならず、増加措置も含む）。別紙としてもよい。

様式2

区 分	項目No.	事 項	内 容
(1) 工場・ 事業場 の概要	①～⑤	工場名等	略称等ではなく、正確に記入すること (ア)日本標準産業分類（令和5年7月改定（第14回改定））の細分類番号を記入する。 (イ)複数の分類に該当する場合は、CODの汚濁負荷量の最大のものを記入する。 令和6年度末で工場・事業場に設置されている水質汚濁防止法施行令別表第1の特定施設のすべての号番号及び基数を記入する。 令和6年度末の数値を記入する。
	⑥	産業分類	
	⑦	特定施設	
	⑧～⑩	資本金等	
(2) 事業の 内容	②	細分類業種	(1)の⑥と同様 特定排出水の業種その他の区分について記入する。（山口県告示第337～339号（瀬戸法申請書の別紙5に記載している事項と同様）） 主要な生産品目について、生産量(t/年、kL/年等)及び出荷額を記入する。 製造工程に係る使用水と冷却水に分けて、令和6年度は実績値、令和11年度は計画（予測）値を記入する。
	③	業種区分番号	
	④～⑥	主な製品	
	⑦	使用水量	
(3) 排水処 理施設	①	年 度	令和6年度とは、令和7年3月31日現在、令和11年度とは、令和12年3月31日現在のことをいう。 工場・事業場での名称を記入する。 一般的な処理方式を記入する。例えば生物処理施設の場合は、長時間ばっ気、接触ばっ気、回転円板等具体的に記入する。 排水処理施設の処理能力について記入する。できるだけm <sup>3</sup> /日の単位で記入する。 排水処理施設の設置年月及びその設置費について記入する。 排水処理施設の処理水量及び処理前後の水質並びに除去率について記入する。 いずれの項目も令和6年度は実測値、令和11年度は排水処理施設の新增設計画があれば、その計画（予測）値を加えて記入する。
	②	処理施設名	
	③	処理方法	
	④	処理能力	
	⑤～⑥	設置年月等	
	⑦～⑬	処理水量等	
	その他		
(4) 排水の 概要	①	年 度	(3)の①と同様 令和11年度の届出値は理論値を記載する。令和11年度の実績値は実績から推測した値を記載する。
	②～⑤	排出水量、水質	

様式 2

別紙 1-1, 1-2, 1-3

区 分	項目No.	事 項	内 容
無	①、②	業種区分	特定排出水の業種その他の区分について記入する。(山口県告示第337～339号参照(瀬戸法の別紙5に記載している事項と同様))
	③	Qの区分	Q <sub>o</sub> 、Q <sub>i</sub> 及びQ <sub>j</sub> を記入する。窒素・燐はQ <sub>o</sub> 、Q <sub>i</sub> のみを記入する。区分は(山口県告示第337～339号参照(瀬戸法の別紙5に記載している事項と同様))
	④、⑤	特定排水	なお、CODの令和7年度以降の設置・増加分については、Q <sub>j</sub> はQ <sub>k</sub> 、窒素・燐については、Q <sub>i</sub> はQ <sub>j</sub> として記入する(以下、同じ)。 (ア)業種その他の区分及びQ <sub>o</sub> 、Q <sub>i</sub> 、Q <sub>j</sub> 及びQ <sub>k</sub> の区分ごとに、特定排水の水量及び水質の届出値及び実測値について記入する。 (イ)項番号ごとの実測値がない場合は、特定排水全体又は処理施設ごとの実測値から算出し記入する。 (ウ)通常の場合には年平均値を記入する。 ※通常の実測値の合計が様式1(3)と同値になるようにすること
	⑥	処理施設	業種その他の区分及びQ <sub>o</sub> 、Q <sub>i</sub> 、Q <sub>j</sub> 及びQ <sub>k</sub> の区分ごとに經由する排水処理施設をすべて記入する。
	⑦	特定排水以外の排水	業種その他の区分ごとにまとめて記入する。Q <sub>o</sub> 、Q <sub>i</sub> 、Q <sub>j</sub> 及びQ <sub>k</sub> の区分ごとに分けなくてよい。
	⑧		排水口名を記入する。
	⑨		(ア)排水口ごとに水量及び水質の届出値及び実測値について記入する。 (イ)通常の実績値は年平均値を記入する。 (ウ)業種その他の区分及びQ <sub>o</sub> 、Q <sub>i</sub> 、Q <sub>j</sub> 及びQ <sub>k</sub> の区分ごとに記入する必要はない。
	その他		最後の欄に工場・事業場全体の合計値を記入する。特定排水については、Q <sub>o</sub> 、Q <sub>i</sub> 、Q <sub>j</sub> 及びQ <sub>k</sub> の区分ごとにとりまとめて記入する。

様式 2

別紙 2

区 分	項目No.	事 項	内 容
無	①	排水口	雨水排水口を除く全ての排水口について記入する。
	②	排水口名	工場で付している排水口名を記入する。
	③、④、⑥、⑧	水量・水質	特定排出水の水量及び水質(COD、窒素及び燐)の届出値及び実測値(令和11年度にあっては推定値)について年平均値を記入する。
	⑤、⑦、⑨	負 荷 量	特定排水に係る負荷量(③×④÷1000、③×⑥÷1000、③×⑧÷1000)

## 調 査 表 記 入 要 領

様式 3

区 分	項目No.	事 項	内 容
(1) 事業場 の概要	①～⑥	工場名等	略称等ではなく、正確に記入すること
(2) 処理施 設の概 要	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ その他	年 度 処 理 方 式 設 置 年 月 処 理 能 力 実 処 理 量 収 集 し 尿 投 入 量 汚 泥 処 理 量 含 水 率 高 度 処 理	<p>令和6年度とは、令和7年3月31日現在、令和11年度とは、令和12年3月31日現在のことをいう。</p> <p>一般的な処理方式を記入する。例えば生物処理施設の場合は、長時間ばっ気、接触ばっ気、回転円板等具体的に記入する。</p> <p>施設を設置した年月を記入する。</p> <p>(ア)処理施設の対象人口及び水量について記入する。 (イ)令和11年度の欄には、令和12年3月31日までに増設計画があり、稼働予定であればそれを加えて記入する。</p> <p>(ア)処理対象区域の区域内人口及び接続済の水洗化済人口並びに実測年平均排出水量を記入する。 (イ)令和6年度は実績値を記入し、令和11年度は下水道整備計画に基づく計画人口を基に、水洗化済人口及び年平均排出水量を予測し記入する。</p> <p>(ア)し尿（浄化槽の汚泥を含む。）の投入量について記入する。 (イ)令和6年度は実績値、令和11年度は計画（予測）値を記入する。</p> <p>処理施設から排出される汚泥量を年間、月間、又は日間あたりについて容積又は重量で記入する。</p> <p>汚泥の含水率を記入する。 高度処理施設を設置済又は設置予定の処理場については、処理方式等を記入する。</p>
(3) 排水 水の概 要	① ②～⑤	年 度 排 出 水 の 概 要	<p>(2)①に同じ。</p> <p>届出値及び実測値を記入する。令和11年は計画（予測）値を記入する。</p>
(4) 排水 水の内 訳	① ②～⑤	年 度 排 出 水 の 内 訳	<p>(2)①に同じ。</p> <p>(ア)排水量及びCOD、窒素及び磷負荷量の年平均値について、生活系、産業系、畜産系及びその他系（自然系）に区別し記入する。 (イ)分流式の場合は排水量及びCOD等の負荷量の実績値を記入すること。合流式の場合は、排水量は実績値を、負荷量はまずその他系について設定水質を用いて算出し、残りを生活系、産業系等に振り分けて算出し記入する。 (ウ)令和11年度には、処理区域の拡大、処理人口の増加等を加味して各系ごとの数値を算出すること。 (エ)排水量及びCOD、窒素及び磷負荷量とも、(3)の②及び③の実測通常（年平均）値と整合をとること。</p>

区 分	項目No.	事 項	内 容
(5) 管理対 策			<p>対策の有無について記入し、その方法についても記入する。  方法については、施設増強もしくは、COD、窒素、リン処理を目的としていない処理施設で、運転管理によるCOD、窒素、リン除去の可能性について記入する。  削減対策のみならず、増加措置への対応もある場合は具体的に記入する。</p>

## 調 査 表 記 入 要 領

様式 4

区 分	項目No.	事 項	内 容
(1) 事業場 の概要	①～⑥	工場名等	略称等ではなく、正確に記入すること
	⑦	形 態	事業場の形態は、住宅団地、アパート、事務所、百貨店等を具体的に記入する。
	⑧	区 分	事業場の区分は、し尿処理場、農業集落排水処理施設、合併処理浄化槽、単独処理浄化槽等を記入する。
	⑨	維持管理者名	
(2) 処理施 設の概 要	①	年 度	令和6年度とは、令和7年3月31日現在、令和11年度とは、令和12年3月31日現在のことをいう。
	②	処理方式	一般的な処理方式を記入する。例えば生物処理施設の場合は、長時間ばっ気、接触ばっ気、回転円板等具体的に記入する。
	③	設置年月	施設を設置した年月を記入する。
	④	処理能力	(ア)処理施設の対象人口及び水量について記入する。 (イ)令和11年度の欄には、令和12年3月31日までに増設計画があり、稼働予定であればそれを加えて記入する。
	⑤	実処理量	処理対象区域の区域内人口及び実測年平均排出水量を記入する。
	⑥	汚 泥 処 理 量	処理場から排出される汚泥量を年間、月間、又は日間あたりについて容積又は重量で記入する。
	⑦ その他	含 水 率 高度処理	汚泥の含水率を記入する。 高度処理施設を設置済又は設置予定の処理場については、処理方式等を記入する。
(3) 排出水 の概要	①	年 度	(2)①に同じ。
	②～⑤	排出水の概要	届出値及び実測値を記入する。令和11年度は計画（予測）値を記入する。
(4) 管理対 策			対策の有無について記入し、その方法についても記入する。 方法については、施設増強もしくは、COD、窒素、リン処理を目的としていない処理施設で、運転管理によるCOD、窒素、リン除去の可能性について記入する。 削減対策のみならず、増加措置への対応もある場合は具体的に記入する。